



SANSHINGROUP
Monthly Report on the ESG
Aug.2020

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

2019年の日本人の平均寿命は男性81.41歳、女性87.45歳で、いずれも過去最高を更新したことが厚生労働省の調査で分かった。前年からの伸びは男性0.16歳、女性0.13歳。過去最高の更新は男性が8年連続、女性が7年連続となった。健康意識への高まりで三大死因（がん・心疾患・脳血管疾患）による死亡率低下が平均寿命の伸びに貢献していると分析されているが、COVID-19が招いたニューノーマルに対する環境適応能力の差が今後の寿命や死因に変化をもたらすことになるだろう。

サンシン電気株式会社 取締役
加来 孝

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

梅雨が明け各地で猛暑となっておりますが、この季節に発生するものにゲリラ豪雨があります。このゲリラ豪雨、スコールとは何が違うのでしょうか。そもそもゲリラ豪雨は気象用語ではない、ということから違うのですが、実はスコールは「激しい天候変化（豪雨、落雷あるいは大雪など）を伴う急激な風速の増加現象である」とされており、「風」のことを言うのだそうです。日本では「突発的な大雨」に使われるスコールは誤りで、英語ではシャワー（shower）となります。（Y.Y.）

SANSHIN Hong Kong

Hong Kong summer is hot and humid, mosquito problems frequently in outdoor activities. Mosquito repellent products generally contain chemicals and not good for the environment. We can DIY natural products. Putting orange peel in the refrigerator to dry it and then put into the gauze bag can be used as mosquito repellent bag. (C.W.)

CSI

以前のセブは信号の稼働が少なく、交通警察官が手旗で交通整理をしていました。今は、ほぼ稼働していますが、信号の無い小さい交差点では未だに手旗で交通整理をしています。警察官では無く短パンとビーサン私服の人が先日おこなっていました。（K.S.）

SANSHINWest

コロナ禍以降、通勤に自転車、マイカーを利用する人が増えていると聞きます。電車通勤からマイカーは完全の逆行となります。感染リスクを考えた場合には当然の事だとは思いますが、環境保全の事を考え省エネ運転を心がけて欲しいと思います。私も週末に運転する時は、ふんわりアクセルと早めのアクセルOFFを常に心がけて運転しています。（T.S）

SHINKOWA

レジ袋の有料化が浸透していき、世間が慣れてきたころだと思います。コンビニに来る人も手提げ袋、直接手で持ち帰る人が多くなりました。こう見るとレジ袋によるプラスチック削減が目に見えてきました。しかし、今度はプラスチック製の袋ではなく紙袋を代用として使用しているお店が増えてきました。紙袋はプラスチックではないので、レジ袋の有料制度が効きません。最近ではストローが紙ストローになってきました。このまま紙製品が増えると、次は紙の問題が増えると思いました。（H.K.）

SC2

モーリシャスでのタンカー事故から一か月。湾岸戦争等の経験を踏まえ、汚染された海の浄化のために人類の叡智を結集すべき時である。だが、事故の当事者国でありながら目先の政局ばかり見て動かぬ日本政府。この国は何も学ばずにここまで来て、そしてどこへ行くのだろうか。（M.I.）

ESG Report (品質)

今月のTOPICS

ストレスとの付き合い方

ストレスとは、外部からのさまざまな刺激によって身体や心に負荷がかかり、「歪み」が生じます。それにより様々な身体への不調を引き起こす原因になります。ここではストレスとうまくつきあう方法を知りましょう。

1. 日頃からストレスをコントロールすることが大切

仕事や職場でストレスがたまってしまった時、飲みに行ったり、運動で発散するなどは、一時的なリフレッシュする方法としては有効ですが、根本的な解決にはならないと理解する必要があります。適度なストレスは仕事へのやる気を高め、生産性を向上させてくれますが、過剰にストレスを感じたりすると心身に不調をきたしたり、病気になってしまうこともあります。重要なのはストレスを上手にコントロールする方法を知ることです。日頃からストレスを適切に対処しておくことが大切です。

2. ストレスの原因を明確にする

ストレスをコントロールするための対処法として、原因を明確にしてみましょう。一日の最後に、いつどこでどのようなストレスが起きたかを書き出してみましょう。書き出すことで自分で再認識出来ますし、心の中に漠然とした状態で残さない事が重要です。

3. 日々出来るストレス対策を見つけましょう

ストレスを軽減するために、自分に合う軽減策を見つける事が重要です。趣味を持つ事や日常生活の中でからだを動かす。食事をしっかりとり、入浴や睡眠によるリフレッシュをする。常にコミュニケーションを取る事ですっきりしましょう。ものの見方、気の持ち方を変えてみるのも重要です。

ストレスとうまくつきあうことは、様々な病気の予防になるだけでなく、充実した生き方にもつながります。是非実践していきましょう。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

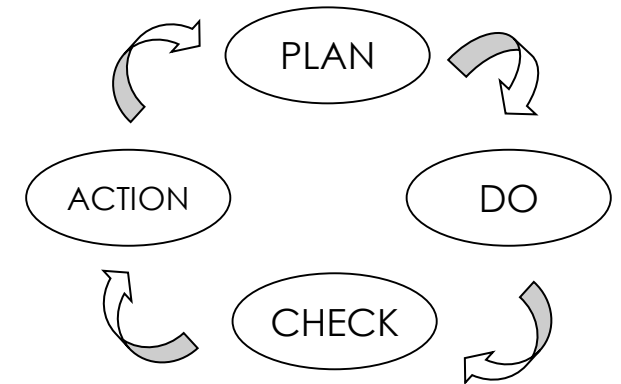
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



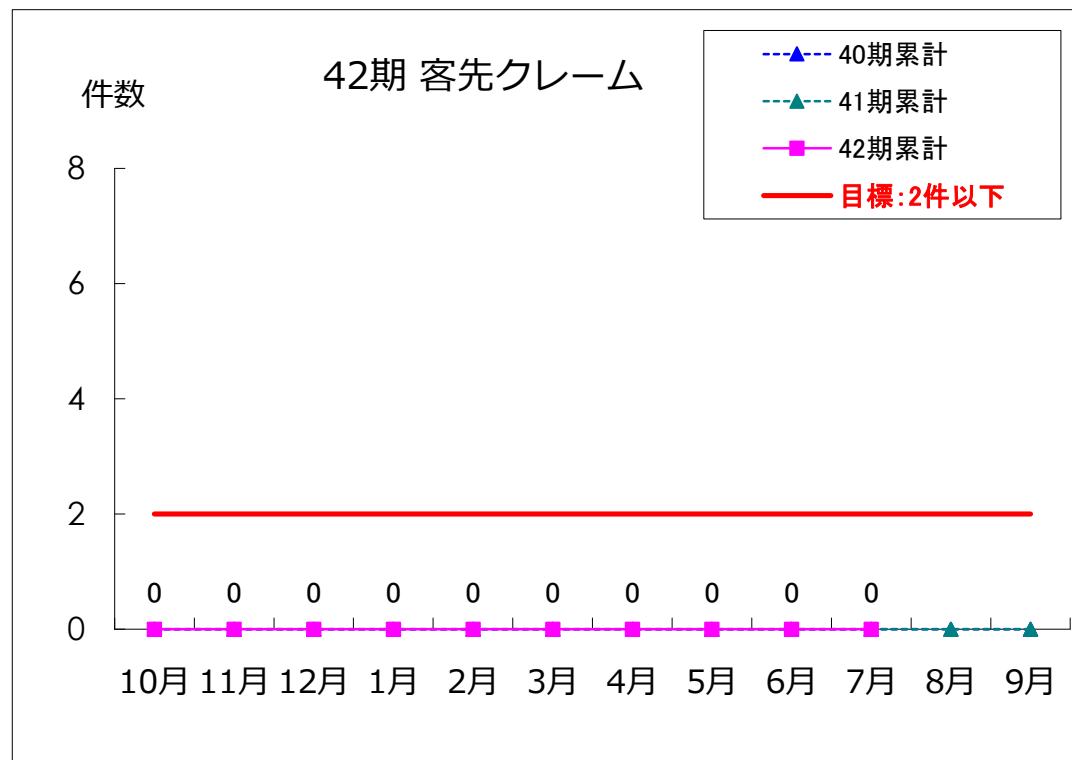
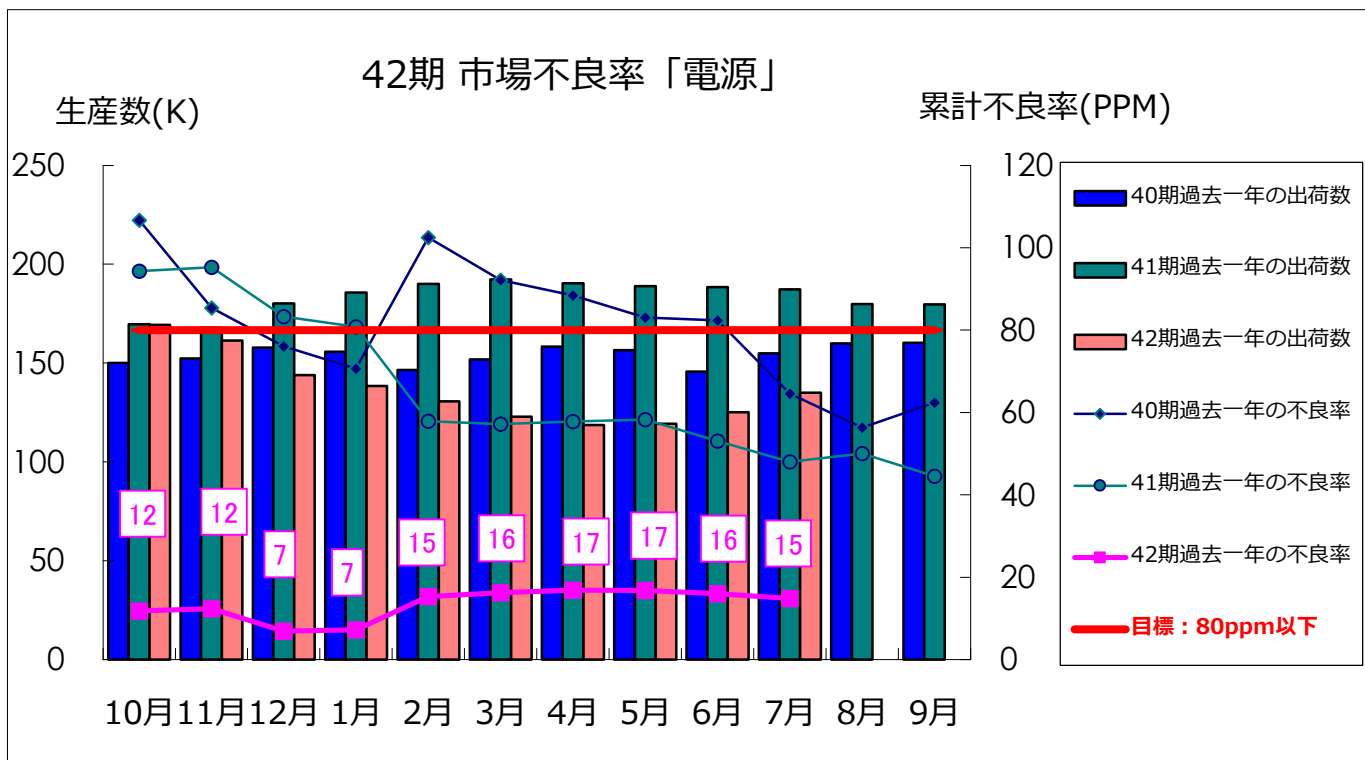
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

42期の累計不良率は、15ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ モーリシャス座礁事故の影響をSDGsから考える

2020年7月25日、インド洋の島国モーリシャス沖で株式会社商船三井(以降、商船三井)が運航する貨物船「WAKASHIO (わかしお)」が中国からシンガポール経由でブラジルに向かう途中で座礁しました。座礁に伴い積載していた重油が流出したことが問題視されており、各種ニュースで目にした方も多いでしょう。2020年8月6日、貨物船の重油タンクが破損したことで、積載していたおよそ4,000トンの重油のうち、約1,000トンが海に流出しました。翌8月7日にモーリシャスのジャグナット首相は「環境非常事態」を宣言し、モーリシャスには「座礁した船を引き揚げる技術や専門知識がない」と支援の必要性を訴えました。約1,000トンの燃料が海へ流出した上、8月20日時点では、船体の後ろ部分がいまだサンゴ礁に乗り上げたままの状態です。

☑ 事故の原因

モーリシャス島の周りには数千メートルにも達する深い海があり、よほど島に近づかない限り、貨物船が座礁することはありません。しかし、わかしおは通常より15キロ以上も陸に近い航路を使用しており、貨物船が座礁したポイントはなんと陸から1.8キロ地点でした。地元警察の調べによると「Wi-Fiに接続するために島の近くを航行した」と乗組員が話したと報じられていますが、正確な原因については2020年8月25日時点で明らかになっていません。



今月のTOPICS

☑ これまでに起きた油の流出事故

今回のような油流出事故は、これまでもさまざまな場所で起きています。モーリシャス座礁事故の3ヶ月前にも、ロシア北部のノリリスク地方で火力発電所の燃料タンクから経路が流出する事故が発生しました。また、2006年のブライトアルテミス海難事故では、今回と同じく商船三井が保有する原油タンカーがスリランカとスマトラ島間で海難事故に遭い、積荷の原油が流出しました。このようにさまざまな場所で重油流出事故が発生していますが、重油の流出規模に注目してください。実は、モーリシャス座礁事故の規模は1,000トンと、他の事故と比較しても小規模であることが分かります。

年	事故名称	場所	流出した規模
1997年	ナホトカ号事故	日本海	6,240トン
2006年	ブライトアルテミス海難事故	東インド洋	4,500トン
2010年	メキシコ湾原油流出事故	メキシコ沖	440万バレル
2020年	ノリリスク燃料流出事故	ロシア北部	2万1,000トン
2020年	モーリシャス座礁事故	モーリシャス沖	1,000トン



☑ モーリシャス座礁事故が特に注目を集めている理由は事故の「場所」

では、なぜモーリシャス座礁事故が世界的に深刻な問題と注目されているのでしょうか？それは事故が起こった「場所」が大きく影響します。

わかしおが座礁した付近には、ラムサール条約の指定地域が2箇所あります。ラムサール条約とは、水鳥を食物連鎖の頂点とする湿地の生態系を守る目的で、1971年に制定された湿地の保存に関する国際条約です。つまり、モーリシャスには多様な生物が生息した保存地域があり、今回の事故が生息する動物たちに多大な影響を与えてしまうことが、国際社会から注目を集めている要因の1つなのです。さらに、心配されるのが海の熱帯雨林と呼ばれるサンゴ礁への影響です。流出した重油を回収するために油処理剤を使用すると、サンゴ礁を傷つけてしまう恐れがあります。そのため、サンゴ礁を守りながら重油を取り除くには、人の手で回収作業をしないとけません。

今月のTOPICS

☑ SDGsの目標からモーリシャス座礁事故が与える影響を考える



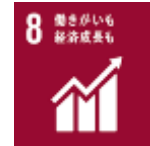
目標14「海の豊かさを守ろう」への影響

今回の事故により、モーリシャスが誇る海洋環境に多大な悪影響を及ぼすと言われています。座礁した付近は、世界的に有名なサンゴ礁や1,700種の海洋生物が生息し、生物多様性のホットスポットです。重油流出により海洋生態系のすべてに影響が及ぶと予測されています。



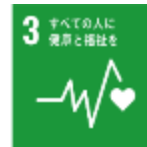
目標15「陸の豊かさも守ろう」への影響

流出した重油はマングローブ林で覆われる湿地帯にまで侵入しています。マングローブは、淡水と海水が交わる「汽水域（きすいいき）」にのみ生育し、そこではさまざまな生物が生息しています。マングローブにまで重油が流れたことで、多くの生態系にも危害を加えます。



目標8「働きがいも経済成長も」への影響

モーリシャスのGDP(国内総生産)は、25%が観光業、10%が漁業で占めています。つまり、海洋産業を中心としています。しかし、重油流出事故により、観光や漁業の仕事がなくなり、収益源を失う人々が増える恐れがあります。



目標2「飢餓をゼロに」と目標3「すべての人に健康と福祉を」への影響

経済不況が原因になり、飢餓や健康にまで影響を及ぼす危険性があります。国際環境団体グリーンピース・アフリカの代表者は、「モーリシャスの経済、食糧安全保障、健康が危機的状況に陥ってしまう」とも述べています。

昨今の新型コロナウイルスの影響で国境を閉鎖しているため、支援の受け入れも困難な状況が続き、スムーズな対処を行えていない現状があります。このように重油流出事故が起点となって、環境から経済、経済から社会へとさまざまな社会課題を連鎖的に及ぼしていることが見えてきます。

今月のTOPICS

☑ モーリシャスのSDGs達成状況

SDSNが毎年、世界のSDGs達成度ランキングを発表しています。2020年度のランキングでは、モーリシャスは166カ国中108位でした。下記がモーリシャスの17目標別の達成度および進捗度になります。

目標につけられている4色はそれぞれ達成度を表し、緑は目標達成、黄は課題が残っている、オレンジは重要な課題が残っている、赤は主要な課題が残っているを意味します。

4色の矢印と灰色の丸は目標別の進捗（変化・動向）を表し、緑は達成に向けて順調、黄は達成に必要なペースの50%を超えている、オレンジは達成に必要なペースの50%を下回っている、赤はスコアが減少している、灰色の丸はデータなしを意味します。



17目標のうち、すでに達成していると評価された目標は目標1「貧困をなくそう」のみと、SDGsの達成状況は全体的に遅れています。ですが、進捗度については多くの目標において前年より改善傾向が見られます。

しかし、こちらの調査は2020年6月に発表されており、重油流出事故が発生する以前の結果となります。今回の重油流出事故をきっかけに、モーリシャスのSDGs進捗状況に負の影響を及ぼすことが想定されます。

今月のTOPICS

☑ モーリシャス座礁事故の責任は誰が負うのか？

今回のモーリシャス座礁事故において、商船三井の会社名がよく登場します。しかし、座礁した「わかしお」は商船三井の所有物ではなく、岡山県の長鋪(ながしき)汽船株式会社(以降、長鋪汽船)の子会社からチャーターしていました。そして、貨物船の乗組員はインド人の船長をはじめとした20名です。

ニュースの報道を見ていると、「商船三井」の名前が踊っているため、商船三井に責任があるように見ることができます。しかし、燃料油流出による汚染損害は、2008年に発効されたバンカー条約が適用され、損害賠償責任は船主の長鋪汽船の子会社が負うことになり、商船三井には法律上の責任は求められません。

しかし、今回の事故をきっかけに、商船三井のサプライチェーンへの管理不足が露呈しました。仮に、商船三井が「危険な運航をする企業とは取引をしない」とステークホルダーへの監視を強化していたら、今回の事故は発生しなかったかもしれません。そういった意味では、会社規模が大きく影響力の強い商船三井の企業姿勢が今後問われていきます。



サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

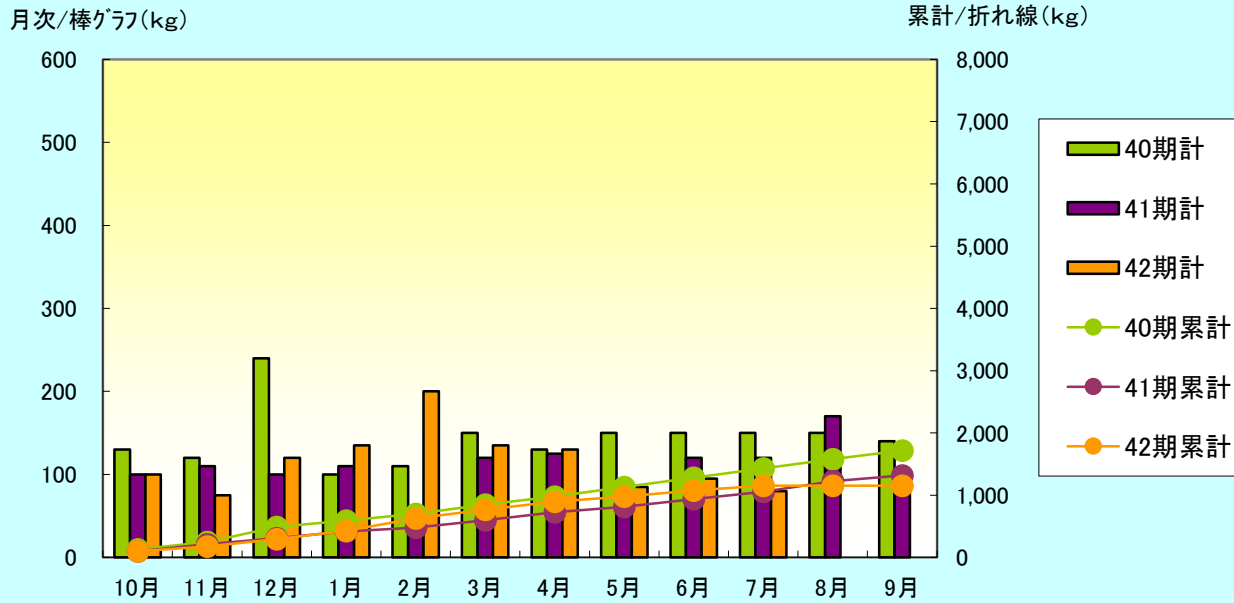
- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

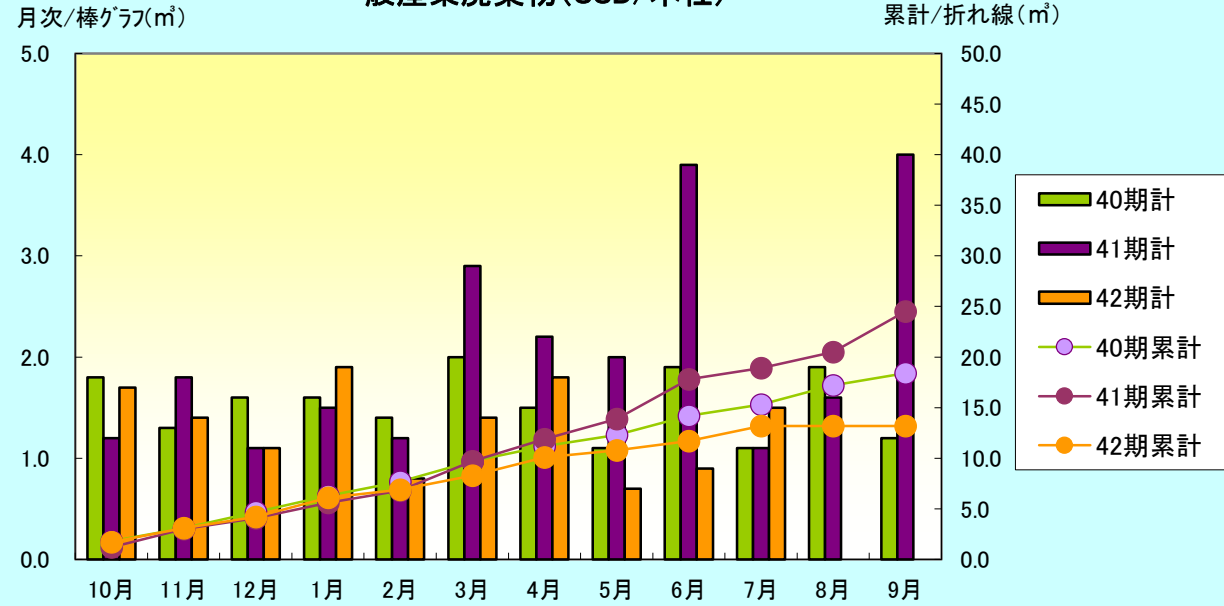
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



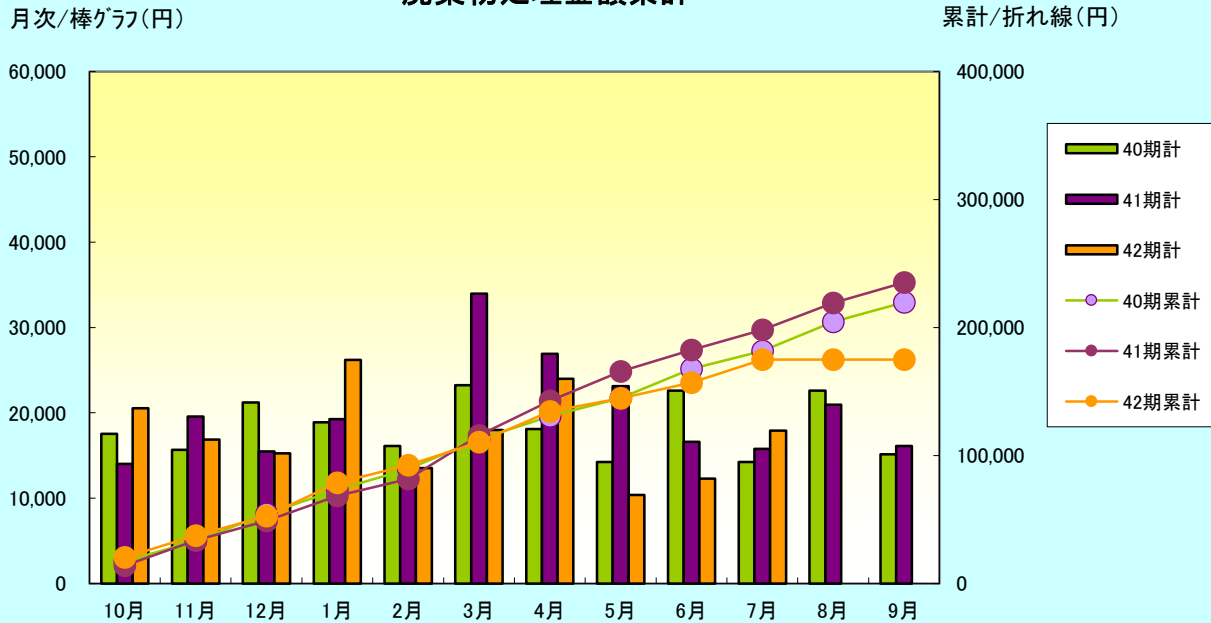
一般廃棄物(SSD/本社)



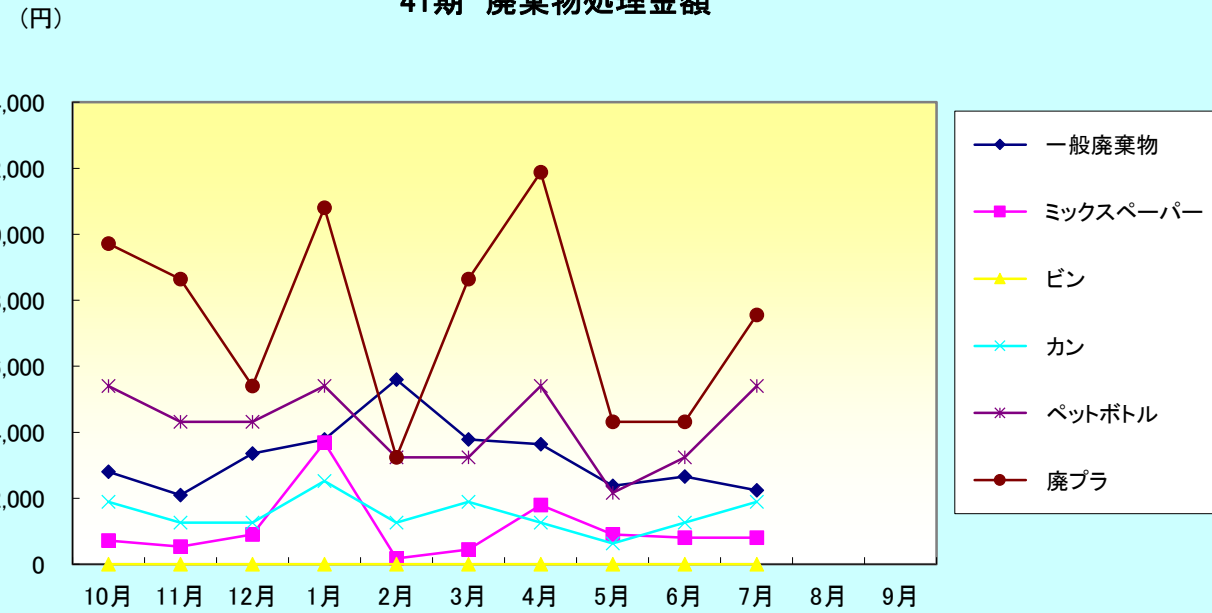
一般産業廃棄物(SSD/本社)



廃棄物処理金額累計



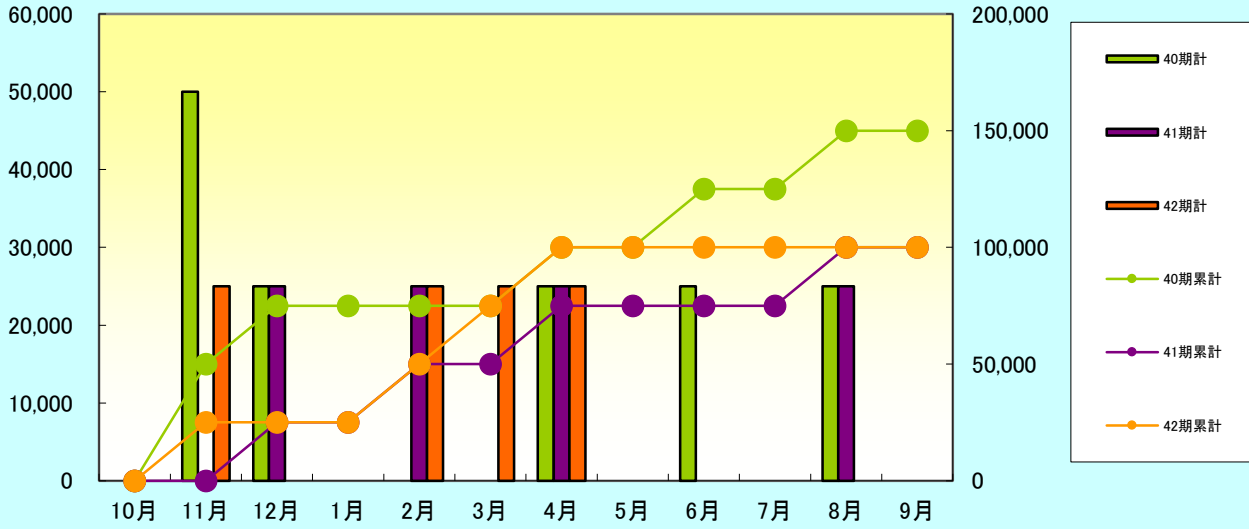
41期 廃棄物処理金額



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

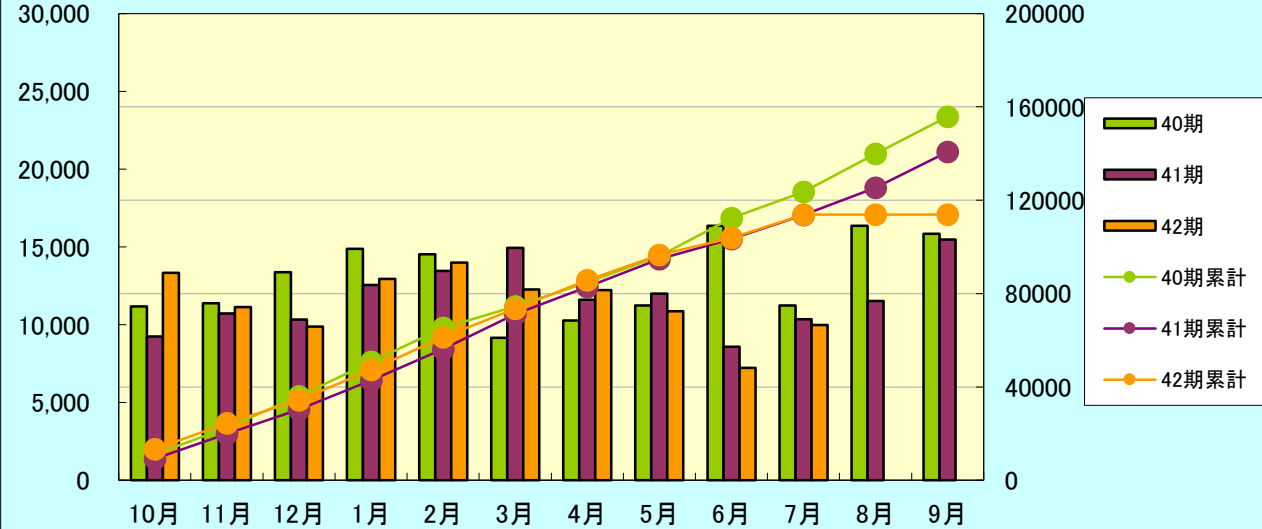
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

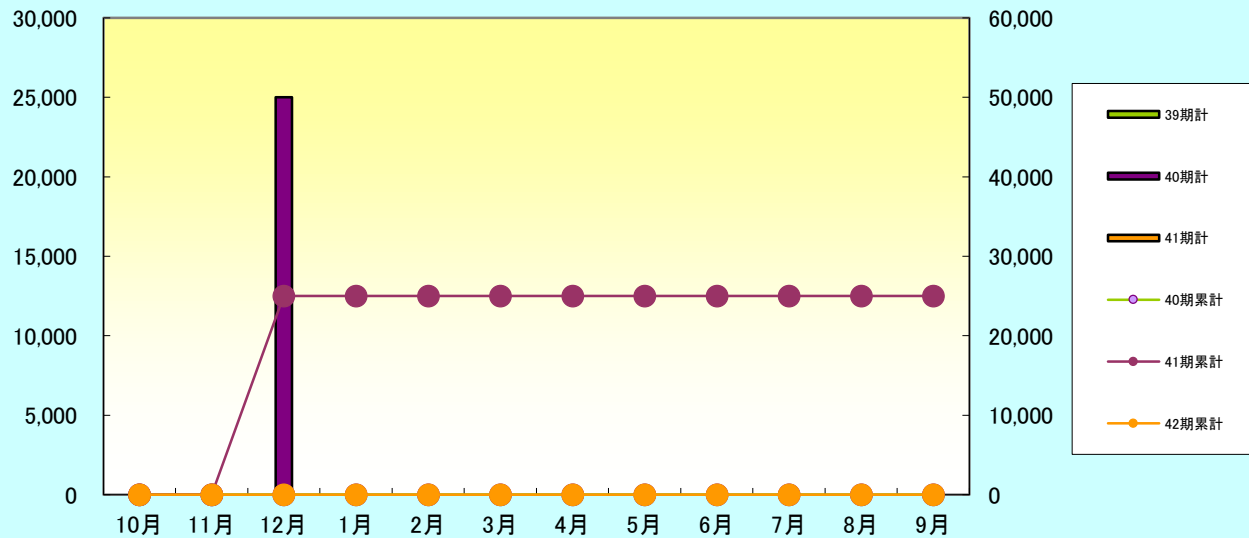
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

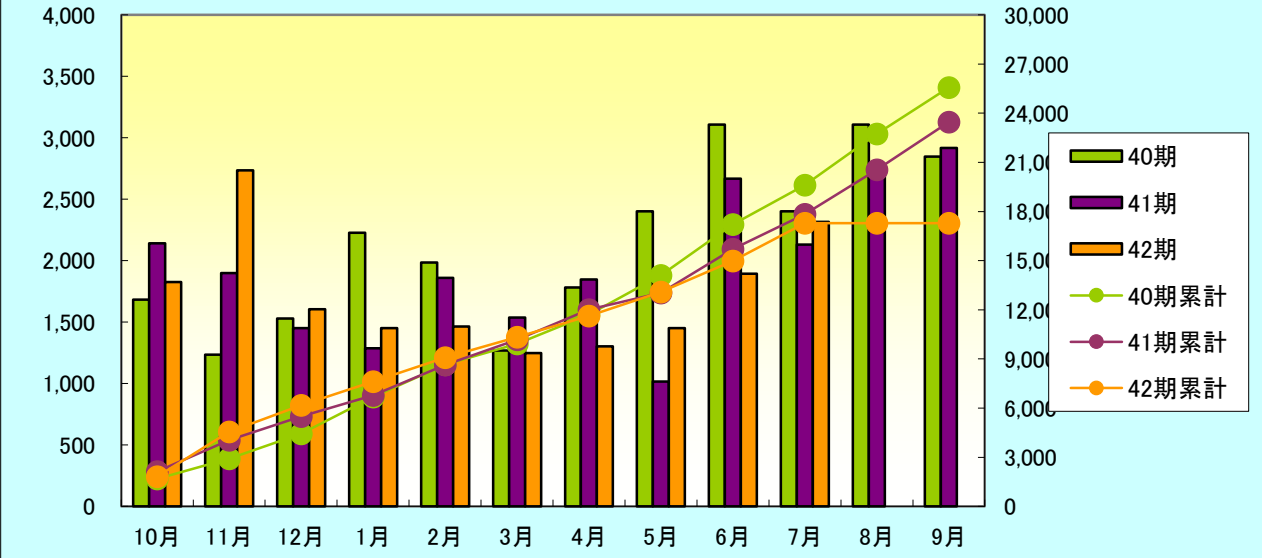
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

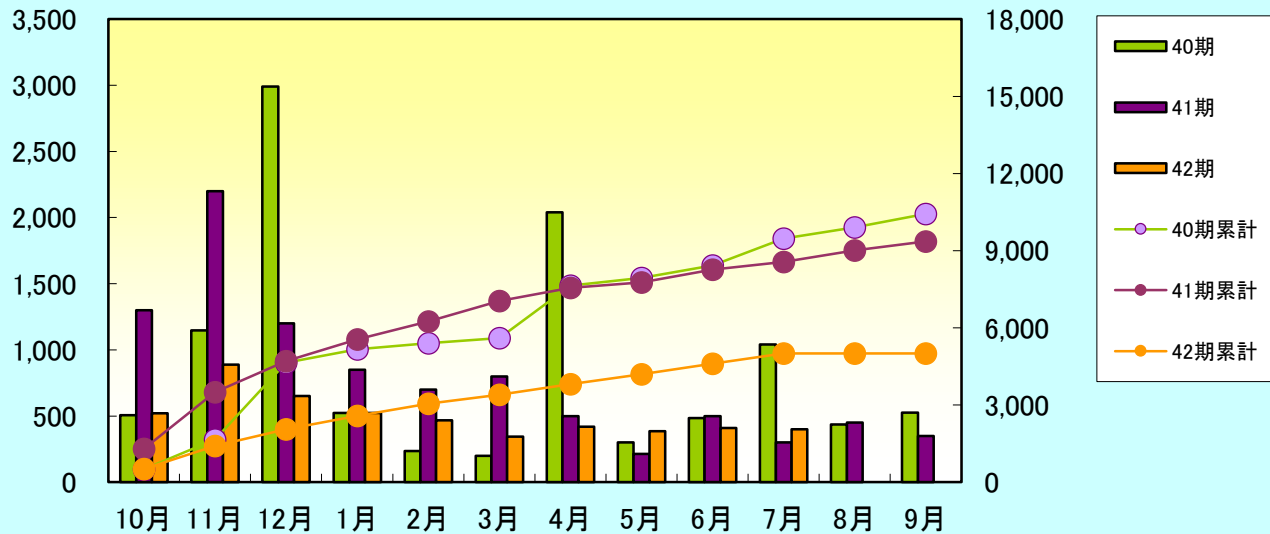
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

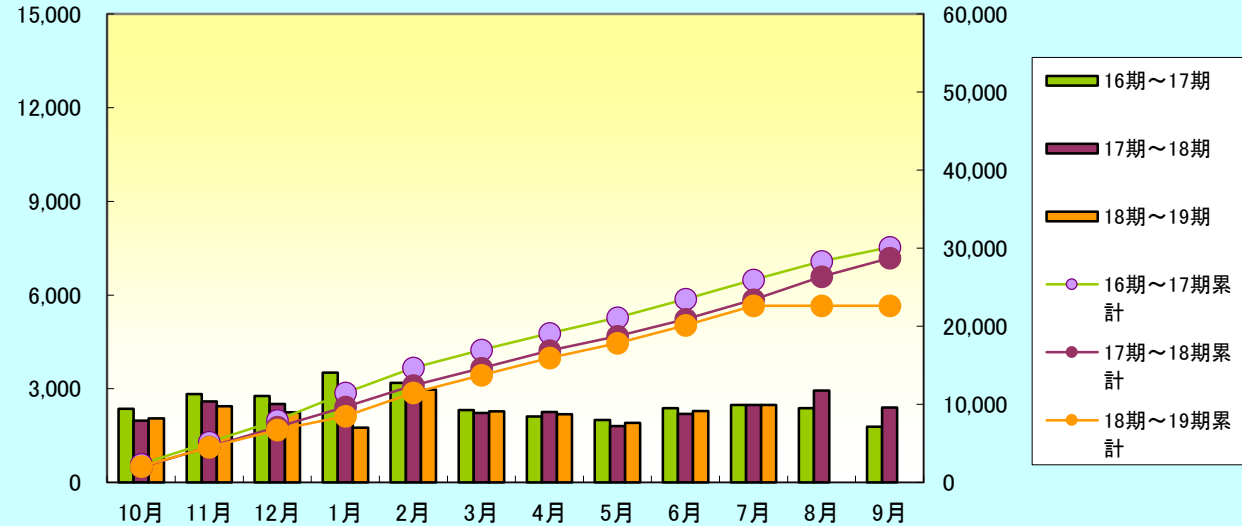
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

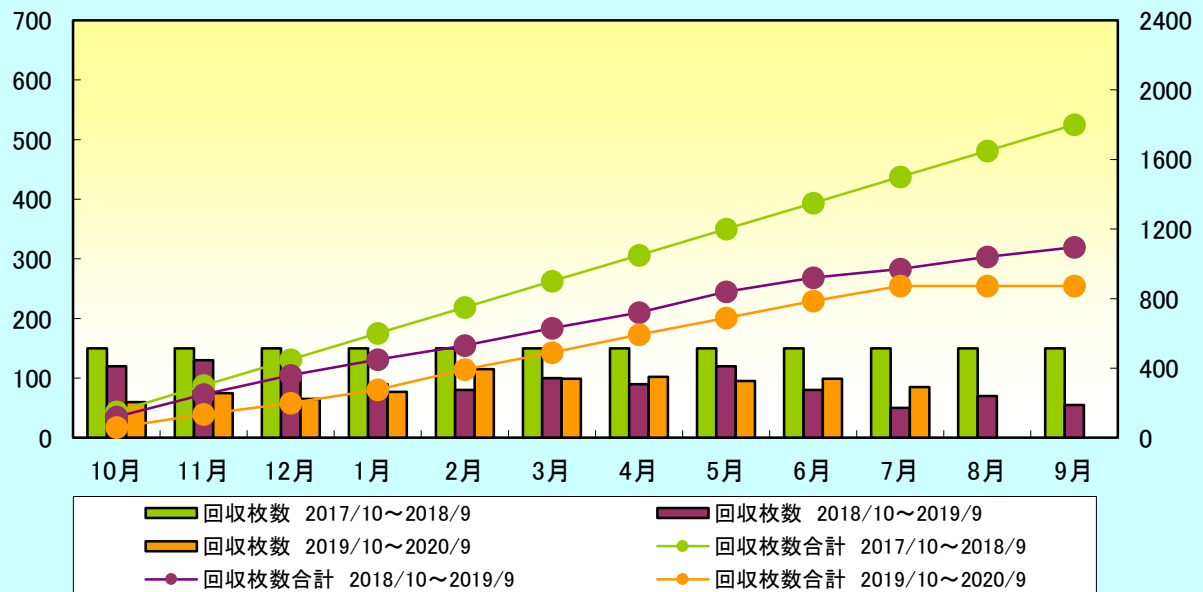
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

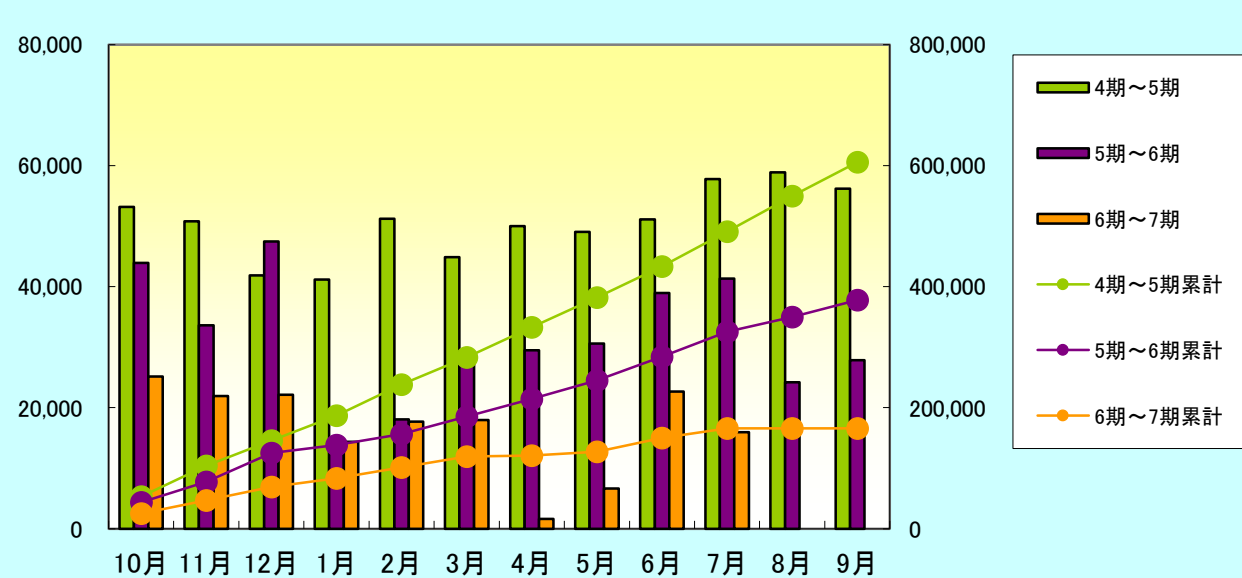
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

『社会貢献活動 ～中学生以上向けに英文法講座を開講～』

去る7月27日・28日の2日間、サンシングループの石井代表が、中学生以上向けに英文法の基礎（の基礎）講座をオンライン開講されました。これは、株式会社ミタスライフがコーチング・学習支援を行っている北区の学習塾向けに、特別に開講されたものです。

当日は、10名ほどの生徒がそれぞれ自宅から受講。通信環境等に心配のある生徒は教室で、3密を避けての受講となりました。

普段は目の前の学校生活に追われ、なかなか英語全体を俯瞰して観る機会のない生徒たち。彼らにとって石井代表の抽象度の高い、それでいて基本的な知識をしっかりと伝えてくれる授業は「今までにないスゴイ体験」であったようです。

そんな生徒さんたちの姿を見守りつつ、若いうちに高い知性に触れることの大切さを感じました。普通の中学校生活では体験できない貴重な機会だったと、彼らは恐らくずっと後になってから気付くことでしょう。



オンライン講座資料表紙

今月のTOPICS

『社会貢献活動 ～中学生以上向けに英文法講座を開講～』

受講した生徒たちは、「難しかったけど、すごく面白かった」「もらったプリントは絶対に捨てないで、大学に行くまで大事に使います」「最後に教えてくれた勉強の仕方がすごく参考になった。あれが知りたかった。その瞬間スマホでスクショしました（笑）」「また聞きたい。今後も同じ先生の講義はありませんか」等、手ごたえを感じるものでした。

授業の理解も早くなり、講師の方でも「あの授業で説明があったアレ」と言えば、生徒が瞬時に理解するため、説明がしやすくなりました。これを繰り返すことで、文法の基礎が体に染みついていくように思います。

サンシングループで普段から代表の薫陶を受けていることを忘れがちですが、今回改めてサンシングループの教育、サンシン大学の存在がいかに貴重であり、素晴らしいものであるかを再確認することが出来ました。

石井代表、お忙しい中本当にありがとうございました！

株式会社ミタスライフ 代表取締役 石井美帆

<http://happy-go-lucky.webcluster.jp/>

活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（7月参加人数：延べ7名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
※2020年8月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ

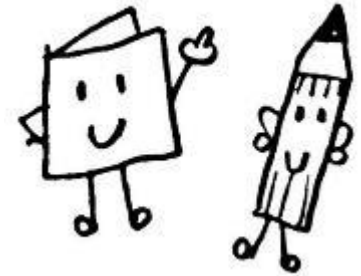


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2020年5月更新）⇒4年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「令和元年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「令和元年度スポーツエールカンパニー」の認定3年連続取得（2017年～2019年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



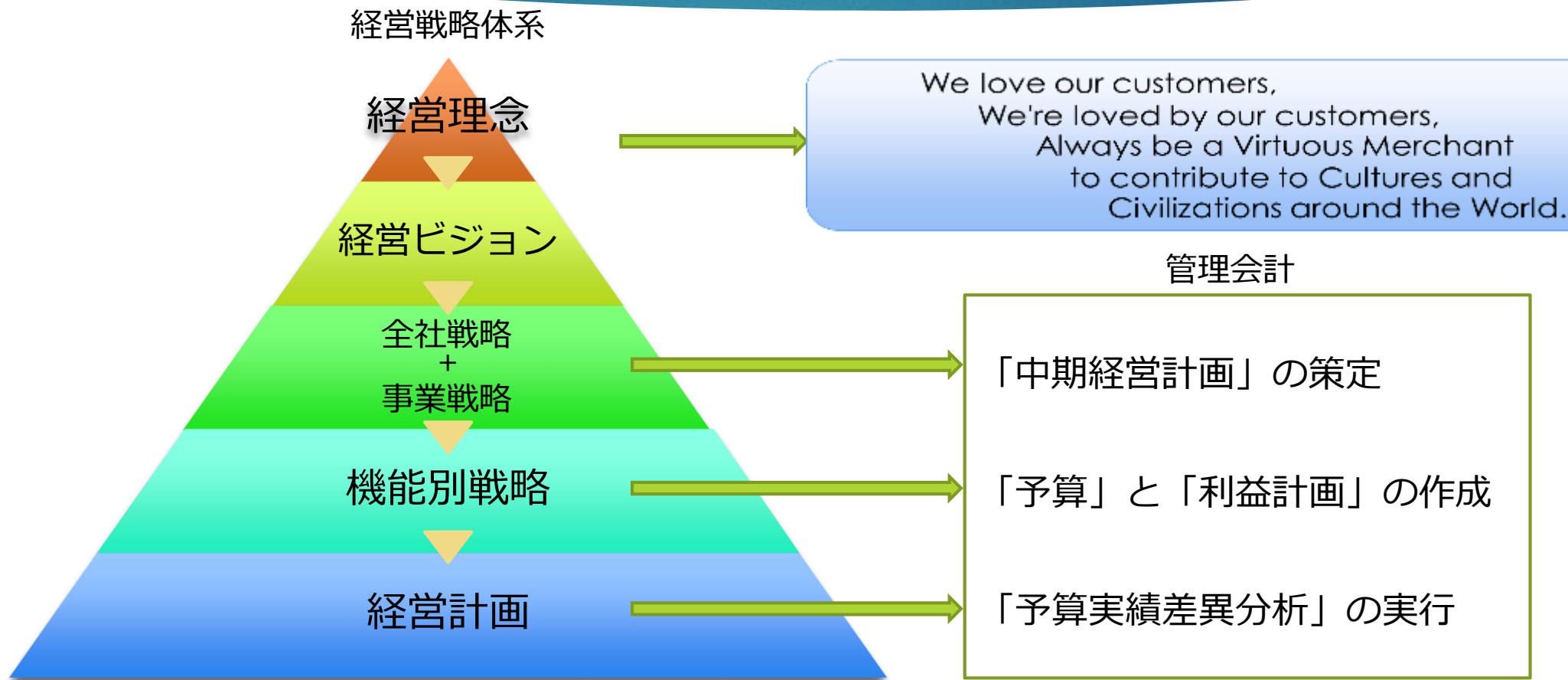
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

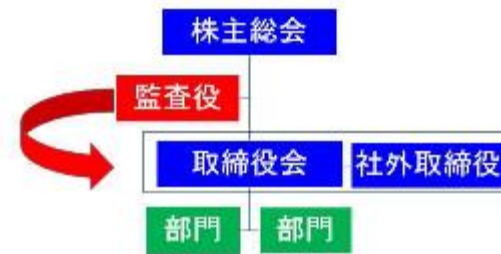
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

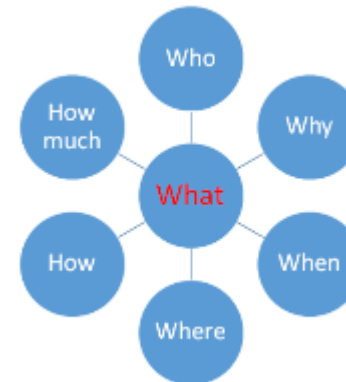
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

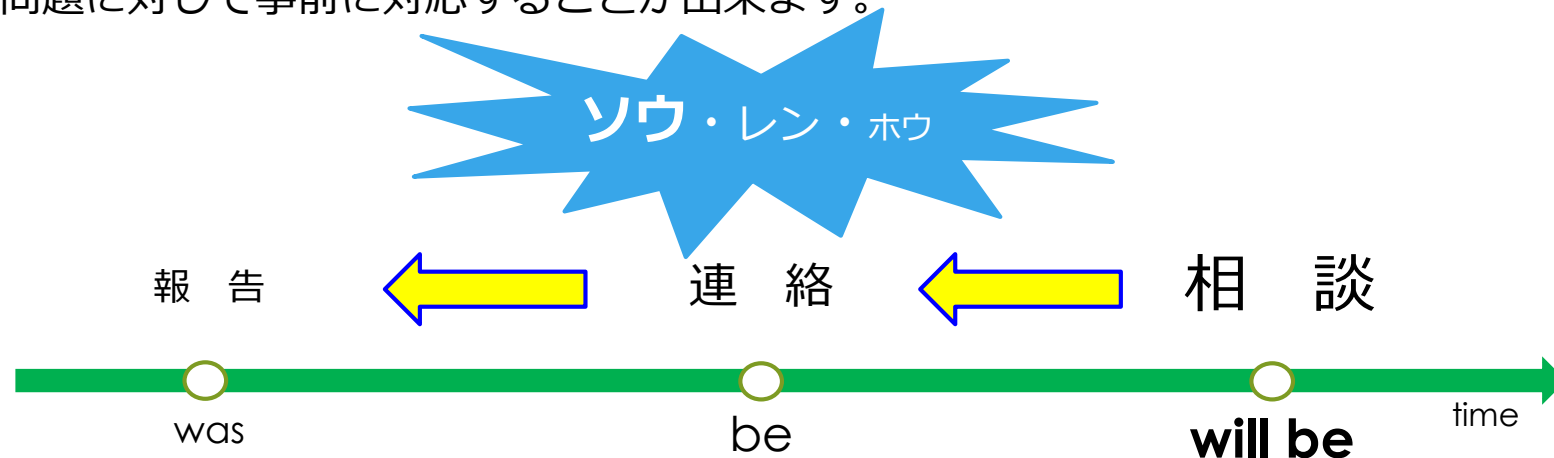


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

サンシン電気 品質管理課 H.O

長かった梅雨からいきなり猛暑が続き熱中症に注意しましょう。新型コロナの影響でマスクをしていると危険度は上がります。適度に涼をとり対策しましょう。猛暑で夏バテになると食欲がない、眠れない、疲れが取れないなどの症状が出ます。バランスのよい食事を取り、適切な時間で質の良い睡眠をすることで疲労回復を図りましょう。